

## 「職場適応援助者の育成・確保に関する作業部会」における論点（案）

## 1 職場適応援助者（以下「JC」という。）の役割、職域、支援の在り方

## (1) 狭義のJC支援について

- 狭義のJC（職場適応援助者助成金の対象）の基本的役割・求められるスキルは何か。
- 狭義のJCの専門性が求められる職域、支援対象（障害者、企業、関係機関等）とは何か。

## (2) 広義のJC支援について

- 狭義のJCが実践的な支援経験を積むことで、スキルや職域がどのように変わることが期待するか。
- 広義のJC支援の範囲をどのように考えるか。特定の企業における雇用を前提とした職場適応・定着支援以外に、一般的な雇用前支援などをどのように考えるか。

## 2 JC養成研修体系の整理等（カリキュラム、階層研修の再整理、実施機関（高等教育機関含む）・研修実施方針）

## (1) 基礎的研修の内容を踏まえたJC養成研修の在り方について

- 基礎的研修の内容を踏まえ、JC養成研修の位置付けをどのように考えるか（専門性の更なる向上、関係機関の調整能力の育成を目的とするなど）。
- 上記のような位置付けの研修とするには、カリキュラムにどのような内容を盛り込むべきか（企業理解、企業ニーズへの対応等）。

## (2) 上級研修等の在り方について

- 現行の支援スキル向上研修に代わる上級研修の内容、受講要件等についてどのように整理するか。
- 現行の研修終了後のサポート研修についてどのように位置付けるか。

### (3) 今後のJ Cの育成・確保について

- J C養成研修の受講機会の確保及び活性化に向けて、J C養成研修実施機関の指定要件について見直す余地はないか。
- J Cの地域偏在を解消し、安定的に確保できるようにするため、各地域の育成計画の作成など、どのような対応が考えられるか。
- J C間における連携や交流など、地域のネットワークをどのように構築するか。

### 3 J Cの活性化に向けた対応（利活用促進策、助成金制度の見直し）

- J Cの社会的認知度の向上やその支援業務の具体的なイメージや魅力を発信していくためにはどのような手段が考えられるか。
- J Cの活動を支えるにはどのような助成が必要か。
- 広義のJ C支援の範囲をどのように考えるか。特定の企業における雇用を前提とした職場適応・定着支援以外に、一般的な雇用前支援などをどのように考えるか。（再掲）
- 中小企業での障害者雇用においてJ Cの活用をどのように促進していくか。
- 障害者就業・生活支援センターへのJ C配置等を含め、障害者就業・生活支援センターとJ C支援との関係や連携についてどのように考えるか。
- 地域障害者職業センターとJ C支援との関係や連携についてどのように考えるか。

### 4 J Cに係る資格化の検討（例えば国家資格化を目指す場合、クリアすべき課題、今後のロードマップ等）

- J Cに係る資格化の前提として、どのような課題が考えられるか。また、その課題をクリアするには、どのような対応が必要か。